

不確実さが増す時代に真剣に向き合い お客さまからより信頼され選ばれる信用金庫を目指します。



ごあいさつ



平素は格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
今年度も当金庫に対するご理解を一層深めていただくために、経営方針や業績、地域貢献活動などについて取りまとめましたディスクロージャー誌「北おおさか信用金庫ディスクロージャー2020」を作成し、公表させていただき運びとなりました。
これもひとえにお客さまのご愛顧によるものと感謝申し上げますとともに、一言ごあいさつ申し上げます。

2019年度、北おおさか信用金庫は中期経営計画「きたしん新3ヵ年計画～地域と共に未来へ歩み続ける金融機関を目指して～」に基づき、お客さまと「寄り添う」ことを重視したお客さま本位の「課題解決型金融の徹底」と「コンサルティング機能の発揮」に取り組みました。具体的には、北大阪地域の地域金融機関として、「ビジネスマッチングフェア」、「うまいもん市」及び「就職合同説明会」などを開催し、地域経済の持続的発展に貢献してまいりました。

また、健全かつ積極果敢な経営を両立させるため、店舗施策として店舗統合を実施し、店舗配置の見直しによる経営資源の再配分にも取り組みました。

一方、足もとの経済環境をみますと、昨年12月に発生しました新型コロナウイルス(COVID-19)による肺炎の感染拡大を受け、国内で初めての緊急事態宣言が発令される事態となり、外出自粛要請による国内需要の大幅な減少や貿易遅延による製品出荷量の減少など、これまでに経験したことのない経済環境の渦中にあります。

こうした経済環境の悪化を受け、営業エリアである北大阪地域の事業者の皆さまにおかれましては危機的な状況となっており、当金庫におきましても、これまで実践してきた「地域における支援活動」について、真価の問われる局面になっていると認識しております。

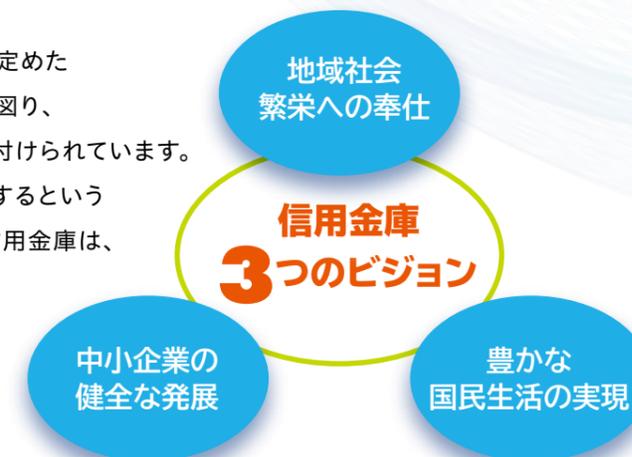
2020年度は、当金庫にとって2018年度からスタートいたしました新中期経営計画の締めくり年度であると同時に、次期中期経営計画への橋渡しとなる年度であり、5年後に迎える100周年に向けての導入年度としても重要な年度となります。

当金庫は、確固たる地位と安定した経営基盤を定着させるため、「持続可能なビジネスモデルの具現化」に取り組み、お客さまや地域社会から『良い金庫』とっていただけるよう、お客さまとともに地域社会の発展を目指してまいります。

この冊子を是非ともご高覧賜り、当金庫へのご理解をさらに深めていただくとともに、今後とも倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

北おおさか信用金庫 理事長 若槻 勲

信用金庫は、中小企業や地域住民の方々のための協同組織による金融機関です。信用金庫について定めた信用金庫法では「国民大衆のために金融の円滑を図り、その貯蓄の増強に資する」ための金融機関と位置付けられています。また、その特徴から一定の営業地域・地元で活動するという地域性も併せ持っています。これにより、私たち信用金庫は、地元の中小企業や住民の方々から預金等をお預かりするとともに、その資金を必要とする方々には融資を利用いただくことで事業の発展や生活向上のお手伝いを行っています。(地元の資金は地元で活かす)



経営理念

- 《きたしん》は、地元に着し、地域経済の発展に貢献します。
- 《きたしん》は、お客さま一人ひとりの幸せを支えます。
- 《きたしん》は、地域に貢献できる人づくりに努めます。

経営方針

- 健全性・透明性の高い経営を追求します。
- お客さまの立場で考え、質の高い金融サービスを提供します。
- 役職員がお互いを尊重し、成長しあえる職場環境を築きます。

CONTENTS

ごあいさつ	1	共通KPI	12
経営理念	2	中小企業の経営支援、事業性評価及び地域活性化のための取組み状況	13
経営方針	2	当金庫の金融仲介の取組み	14
業績ハイライト	3	「経営者保証に関するガイドライン」への取組み	14
金庫概要・組織体制について	4	単体情報	
北おおさか信用金庫のCSR	5	財務諸表	15
News & Topics	6	業務・店舗のご案内	
地域企業のみなさまへ	7	店舗一覧	17
地域のみなさまへ	8	店外ATMコーナー	18
個人のみなさまへ	9		
「お客さま本位の業務運営(フィデューシャリー・デューティー)に関する基本方針」に係る取組み状況	11		